

謹
賀
新
年





新春のご挨拶

いみず野農協協同組合 代表理事組合長

水元睦雄

明けましておめでとうございます。
組合員の皆様、ならびにご家族ご
一同様には輝かしい新春を迎えられ
たことと心よりお慶び申し上げます。
皆様には日頃より農業の振興お
よび事業活動に格別なご理解とご協
力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は日本の農業を取り巻く情勢に大きな影響を及ぼす議論が各方面でなされた1年であったのでないかと思ひます。

まず、ＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）交渉については、日本は昨年の３月１５日に交渉参加表明を行いました。未だに十分な交渉経過の情報開示がなく、農畜産物５品目の除外は現時点では予断を許さない状況となっております。もし、これらの一部でも対象になれば、今後は国として最終的には批准しないよう働きかける等の戦術変更もありえるとＪＡグループで対応を協議しているところであります。

水田農業対策では、マスコミは盛



新年のごあいさつ

射水市長

夏野元志

明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には日頃、市政とりわけ農業施策の推進に格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

一年を振り返りますと、市におきましては、念願でありました「コス
トコ・ホールセール・ジャパン株式
会社」との土地売買契約を締結し、
小杉インターパークへの進出が正式
に決定いたしました。一昨年の株式
会社プレステージ・インターナシヨ
ナルに継ぐものであり、雇用の創出
をはじめ、地域経済の活性化に大き
な期待を寄せております。

今後は、「新湊大橋」も含め、新たなまちづくりの可能性を探り、目前に控える北陸新幹線の開業と合わせ、相乗的な経済効果を生み出すた

んに産業競争力会議で減反政策廃止が打ち出されたことを報道しておりますが、これは決定されたわけではなく不確定な情報が先行しているに過ぎません。ただ、米の需給が供給過剰なことは確かであり、過剰米対策として備蓄米や加工用米、飼料用米への転換や枝豆の産地化推進等、コメ以外の農産物の作付等を行い、様々な国の補助金を確保しているかないと日本の農業・環境・農村は守れません。平成26年度もJ Aグループあげて全力で直面する課題に取り組んでいく必要があると考えております。

いみず野農協管内では担い手シェアが8割に達し、加えて昨年12月に市内の7つの営農組合が法人化となり、法人の営農組合は26組織、耕作面積も1,200町歩を超える規模となりました。また、昨年の稲作は、天候の影響により乳白粒等の被害の発生が多く、富山県産のうるち米全体の1等米比率は68・2%と昨年

より5ポイント低下しましたが、当
いみず野農協においては、88.9%
と県平均を大きく上回り射水市産米
の品質確保ができたものと喜んでお
ります。これは日頃からの皆様方の
努力が実を結んだ成果であり、また
高岡農業振興センターと連携した当
農協の営農指導体制の成果でないか
と自負しているところであります。

今後とも「安全・安心な農産物の生産」を基軸に地産地消を拡大するとともに、販路の確保に積極的に取り組むことが、農家の皆様の負託に応えるべき責務と考えている次第であります。

昨年7月に、新築移転により誕生した新「大島支店」は地元組合員の皆様の大きな支援を受けて順調に業績を伸ばさせていただいており、改めて感謝申し上げる次第であります。いみず野農協の貯金量は、昨年未には1,170億円となり、貸付金残高は300億円に達しております。これもひとえに皆様のご協力の賜であり、今後とも食と農、地域社会へ貢献することにより、組合員ならびに地域の皆様を選ばれ、成長し続けるJAの実現を目指して努力を続ける所存であります。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

より生産面積も拡大し、市においても大いに期待しているところであります。これもひとえに組合員の皆様を始めとする農業者の方々のご努力の賜物であり、深く感謝を申し上げますとともに、今後も本市の農業振興に変わらぬご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

農政全般に目を向けますと、国は従来の米の減反政策から方向を転換し、政策を大きく変えようとしています。市としては、今後の射水市における農業のあり方を貴組合並びに国や関係機関と協議・検討を重ねてまいりたいと考えております。さらに、国に対し、農業の持続的な発展と中長期的な視点に立つた安定的な支援を要望するとともに、農業生産基盤の整備や経営の安定・規模の拡大等に向けた継続的な支援を図ってまいります。

結びに、いみず野農業協同組合の今後益々のご隆盛と組合員の皆様のご健勝ご活躍、さらには本年が実り豊かな年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

監	監	監	監	監		代	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常	副	副	代	會		
						表																			務	組	組	代表理事組合長	長		
事	事	事	事	事	事	監	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	長	長	長	事	
荒	牧	藤	矢	高	織	田	河	前	川	臍	土	川	稻	永	松	浦	源	桶	堤	開	高	朽	島	洪	高	小	塚	土	石	水	夏
川	野	岡	野	長	田	邊	岸	花	東	嶋	合	野	垣	田	岡	元		本	谷		瀬	木	倉	谷	田	川	本	田	黒	元	野
	久	正		伸	富	康	芳	敏	茂	茂	正		朝	篤	昌	康	春	一	豊	武	範		文	忠		秀		勝	睦	元	
茂	雄	明	任	二	雄	弘	美	子	幸	夫	夫	修	夫	儀	一	夫	夫	郎	吉	將	次	寛	則	雄	務	明	清	彰	三郎	雄	秀

いみず野農業協同組合

**謹んで新年を
お祝い申し上げます**

平成二十六年 元旦





年頭のごあいさつ

高岡農林振興センター 所長
永 森 雅 之

明けましておめでとうございます。昨年は全国各地で、地球温暖化や台風の来襲、天候不順などにより大規模な自然災害が発生しました。幸い、県内では大きな自然災害はありませんでしたが、平成22年に次ぐ猛暑により水稲や野菜の生育・品質に大きな影響がありました。特に、平成25年県産米は、作況指数は102と「やや良」でしたが、10月末の1等比率は、コシヒカリは昨年よりも6・5%低い64・9%、てんたかくは84・8%でした。

幸いJAいみず野の1等比率は、コシヒカリが86・0%、てんたかくが94・9%と県平均よりも高く、関係機関の指導と農家の皆さんがしっかりと実践されたことからかと思えます。

また、射水市の担い手は、集落営農法人と特定農業団体が主体ですが、シェア率は77%と県内トップクラスになっていきます。その特定農業団体の法人化については、延長期限を迎える組織について、これまで各種研修会や個別指導助言を行ったところ、3月までには新しく9組織が法人化される予定です。今後、時代が大きく変化するなかで、ビジョン

を持つて農業経営や地域農業を担っていただきたいと期待します。

また、1億円産地づくりの重点品目として位置付けられているエダマメは、新たに出荷組合が設立され首都圏市場においても高い評価を得ました。今後ともエダマメの生産拡大のほか、白ネギ、コマツナ、ブロッコリー、小菊やストックなどの園芸作物の生産と経営の複合化にご努力願います。

さらに農業生産基盤のハード整備としては、昭和62年の下条地区から始まった大区画圃場整備は、土合地区や広上地区、水戸田地区も順次工事が進められております。大区画整備に対応した効率の良い作業体系や省力・低コスト栽培技術の提案並びに複合化指導支援などを行いますので、経営力の強い経営体を目標にご努力願います。

ところで昨年の秋、第52回農林水産祭「むらづくり部門」で農事組合法人「ファーム大島」が内閣総理大臣賞を受賞されました。県内の団体が、むらづくり部門でトップ3賞を受賞するのは初めてのことですが、これはファーム大島が進めている効率的な経営や地域共生の取り組みが全

国で高く評価されたものです。特質されるのはその理念で、「楽しむ」「常に挑戦する」「喜んでもらえる」「ありがとうと感謝できる」を掲げておられます。楽しみながら新たな農業技術に挑戦し、消費者に喜んでもらえる安全な農産物を作り続け、また、地域住民と一緒に農業を考え、いろいろな面で地域に貢献していくことを目標にされています。

また、昨年開催された「東京モーターショー」で国内の某メーカーは『梓にはまるな。』を掲げて注目を集めました。そのメーカーはクルマを造り販売してからちょうど50年目でしたが、「常に新しい発想と挑戦、負けん気、答えを力タチに出す力」を企業スピリットに、原点は「人のうれしさや喜びを応援する」ということでした。

今年から国の農業政策が大きく転換するなかで、競争力のある農業の実現や、農村の活性化を図るためのヒントが、この二つの事例からも読み取れるのではないかと思います。

振興センターとしても今後とも、法人化の推進や農業後継者の育成・確保、いみず野米の品質・収量向上や低コスト生産、エダマメ・白ネギ・菊など園芸の振興、6次産業化など農業経営の高度化・複合化、大区画ほ場整備などの基盤づくりなどに、JAを始め関係機関、団体の皆様とも協力し努力をしまいたいと考えています。

終わりに、新しい年が皆様方にとって実り多い幸せな一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。



新年のご挨拶

いみず野農協 青年部長
松 本 剛 明

明けまして、おめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新年を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

日頃より青年部の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、自然相手の農業にとって気候の良し悪しがその年の作柄などに大きな影響を及ぼすことについては言うまでもありませんが、昨年も近年の例に漏れず天候に悩まされた年でありました。

水稲については作付品種構成の適正化が進められている中、主力品種のコシヒカリは猛暑下での品質低下緩和のため5月15日を中心とした田植えがほぼ全域で実施されました。一部圃場ではニカメイチュウやカメムシといった害虫による被害や、高温登熟により米の中心が白く濁る乳白米の発生も見うけられましたが、栽培者各位の適正な病害虫防除や中干し、追肥などの肥培

管理により1等米比率は富山県平均の68%に対しJAいみず野は88・8%と県下でもトップクラスの高品質米生産を行うことができました。

大麦や大豆も平年を上回る収量、品質でありました。また射水市は枝豆・こまつなの県下有数の産地であります。特に枝豆につきましては県内流通だけでなく、新たな販路として首都圏市場への出荷が行われており、そちらでも高い評価を受けていることから今後が期待されます。

本年も高品質で売れる射水市産の農作物づくりに努めていきたいと思えます。農政面では「生産調整廃止」という言葉がマスコミで報じられました。農林水産省の資料では「5年後を目途に、行政による生産数量目標の配分に頼らない状況にいくことを、行政・生産者団体・現場が一体となって推進する」とされています。

今後「攻めの農林水産業」という言葉

を耳にする機会が増えると思われるますが、国が示す「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創り上げ、農業・農村全体の所得倍増を目指すという改革方向に沿って、その動きに乗り遅れないよう注視していきたいと思えます。

当青年部では次代を担う子供たちに農業への関心を持つてもらうための「チャレンジ農業体験」を女性部と共に続けております。射水市内の小学5・6年生を対象に、昨年は枝豆の栽培、様々な野菜の収穫体験や料理教室等を開催しました。

また、昨年11月には青年部片口支部の若きこまつな生産者である堀安秀君が「農業から地域貢献へ」と題し「青年の主張」富山県代表として静岡県で開催されたJA東海北陸地区大会に挑戦し優秀賞を獲得しました。

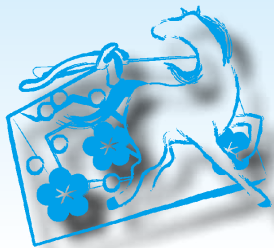
このように青年部は、地域の社会活動と同時に、管内若手農業者相互の貴重な学習と交流の場として今後も活動を続けて参りたいと思えますので、今後とも青年部の活動に暖かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後に組合員の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げまして新年の挨拶と致します。本年もよろしく願います。

明けまして
おめでとうございます
今年もよろしく
お願いいたします

◆企画管理部	
企画管理部長	村上利之
企画管理部次長	夏野邦昭
総務課長	岡本保之
◆監査室	
監査室長	竹内正治
◆金融共済部	
金融共済部長	小林栄三
金融共済部次長	野尻知成
貯金為替課長	稲田浩幸
融資課長	高松善一
共済普及課長	樋爪浩史
共済業務課長	番匠隆司
◆事業推進部	
事業推進部長	平野修一
事業推進部長	寺島尚登
◆営農部	
営農部長	中橋雅彦
生産販売課長	竹内哲二
営農指導課長	北林勝実
営農施設統括課長	北川和幸
農業機械課長	金川幸実
養新法センター長	松島哲治
養小杉センター長	

◆生活部	
生活部長	夏野司
生活総合課長	吉川智
車両課長	金賢志
燃料課長	多田哲郎
◆支店長	
小杉支店	炭谷一三
太閤山支店	玉井明
三島野支店	犀藤哲男
南郷支店	寺井直人
大島支店	宮原謙一
大門支店	鈴木健一
新湊支店	村田伸宏
新湊南支店	駒井秀樹
片口支店	井上学
堀岡支店	矢後大輔
東部支店	廣田一也





新年のご挨拶

いみず野農協 女性部長
河岸 芳美

明けましておめでとうございます。
組合員の皆様ならびに女性部員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えなれましたことと、心よりお喜び申し上げます。また日頃より女性部活動に際し深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、世界文化遺産に富士山が登録されました、わたしにとってはいえいえいえ！まだだったの？？そう思った人も少なくないと思います。県の女性部旅行「ママさん大学」でも富士山人気にあやかり去年の6月に行ってきました。富士山の伏流水豊富な「忍野八海」を見学し水の透明さに感嘆！そして富士山五合目へ、道中ガスや霧に邪魔された時もありましたが、到着時にはスッキリ晴れ雄大な姿を見ることが出来ました。外国人の観光客も多く、さすが

富士山 いままで世界文化遺産に登録されなかったのが不思議でした。

また12月には世界無形文化遺産に「和食 日本人の伝統的な食文化」が登録 これまたいえいえ！！和食は近年世界中から注目されています。まず米中心の一汁三菜の栄養バランス 四季折々の食材の味を生かした調理法昆布やかつお節でとるだし（うま味）が自然を尊重する日本人の社会的習慣として、世界無形文化遺産に登録されました。日本の先人達の英和が世界に認められました。私達は和食の価値をあらためて見直し、和食の基本でもある地域に根ざした食文化を次世代に伝えていかなければなりません。

この登録によって消費者が農業を身近なものとして、興味を持ってほしいと思います。女性部も今日まで取り組んできた「食と農」の大切さ

を今一度見直し、多くの仲間と共に食の安全・安心を追求し、自給率の向上に努めていきたいと思っています。

また21世紀を担う子供たちの健全な食生活と、いつまでも安心して暮らすことが出来る地域社会を次世代につなぐ為にフレッシュミズと共に取り組んでまいりたいと思います。

私達女性部は今年度も「家の光」の記事を教科書としてAコープマーク品を使った料理教室や手芸教室、助け合い組織と連携して高齢者支援活動としての「さわやかホットサロン」そして親子ふれあい活動の「ちゃぐりん大会」や「チャレンジ農業体験」等の次世代を担う子供達の育成など、地域に根ざしたJA女性部ならではの活動を皆様と共に展開していきたいと思っております。

本年も皆様方には女性部活動へのご協力をお願いすると共に、JA、青年部、行政、各種団体の皆様方の更なるご支援と、ご指導をお願い申し上げます。終わりに、組合員の皆様ならびに女性部員の皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。まして新春の挨拶とさせていただきます。

組合員の皆様へ 出資証券の発行廃止(ペーパーレス)についてのご案内

日頃より当JA事業をご利用いただきありがとうございます。
さて、皆様から出資いただいております出資金につきましては、これまで出資証券を発行しておりました。JAの出資証券は、株式等の有価証券とは違い、換金性がないものとされております。そこで今般、事務処理を変更し、平成26年6月1日からは出資証券を発行せず、出資金残高を皆様にご案内することといたします。出資金残高は電算システムにより個別に管理しており、組合員の皆様には、毎年、出資金残高等をご案内し、ご確認いただく方法に変更させていただきますのでご理解とご協力いただきますようお願いいたします。
これまで出資証券は、皆様のお手元で保管・管理いただいておりますが、ペーパーレス化により紛失等のリスクが排除され、ご新規の加入手続や持分譲渡手続がスムーズに行うことができますようになります。

米生産者の皆様へ

平成25年産出荷契約米概算金の追加支払いについては見合わせます。理由については平成25年11月末時点での平成25年産出荷契約米の全体の取引条件が確定していないためです。



●JAいみず野女性部研修の旅 古都 京都・奈良を訪ね



紅葉・黄葉の時期をやや過ぎた「古都大和路」を訪ね、各神社・寺院の歴史に触れ、年代を感じる建立物・隅々まで手入れの行き届いた広大な庭園の樹木や植木に触れ、日本の歴史の一部を垣間見、感銘を覚えてまいりました。

富山を出発した時は曇り空でしたが、走行を進めるごとに回復し最初の見学地「詩仙堂」到着時にはさわやかに晴れていて、石道路・石階段を上り下りしながら、左右を眺めさらに解放された屋内から



ゆったり眺めを堪能しました。続いての「圓光寺」も建立物・庭園の素晴らしさはもとより、国宝の仏像・絵画・屏風など拝観いたしました。この庭園は自然に育っている竹・椿・さざんか・南天・つつじ等など日常何処でも目にする植物でしたが、其々趣のある形に整えられ「さすがですね」と感動しきりでした。そして「六角堂」へ、聖徳太子ゆかりの地・いけばな発祥の地の由来の寺社、京都市の真ん中のシンボル（？）「へそ石」も珍しく拝観しました。京都市内は観光バス進入規制の道路が多く、徒歩での移動、繁華街を眺めながら賑やかに一旦ホテルへ到着、すぐに「錦市場」の見学、市民や近郷近在の食糧や日用品など、大都市の生活を預かる「市場」、スケールの大きさは流石でした。街中を少し散策、お楽しみ会食「美濃吉」へ、趣向を凝らしたお部屋で懷石料理をいただきました。

有意義な見学の自由時間では、ライトアップした寺院とイルミネーションを楽しんだ人、ホテルへ帰ってゆったり庭園風呂に浸かった人、それぞれでした。

二日目、チョット早めの出発で、一般道・高速道をひた走り、田園風景と遠くに山嶺を望み、やや狭い曲りくねった山中を走行し奈良県の「長谷寺」を拝観しました。ぼたん庭園でも有名ですが今は南天の実があざやかでした。広大な一山に本堂・宗宝殿など建立物も多く伽藍のすばらしさ、十メートルを超える大観音様など拝観してまいりました。そして今年の4月オープンした「まほろばキッチン」へ。生産者、消費者、地域社会の三位一体を目標とした規模の大きさは流石でした。農産物品販売展示場所を最大限広く取り入れ、隣接の食堂、レストラン、花販売所他、大和の地が育んだ素晴らしい施設でした。

●JA料理教室に参加して

今回は、「お正月のおもてなし料理」のテーマ、メニューが多くて張り切ってはじめました。

おせち煮は、筑前煮をお正月用にアレンジし、9品目の材料を入れ、色どりもよく出来上がりしました。人参は梅型で抜き包丁で更に削り立体感を出し見栄えがしました。

のし鶏は、ひき肉を使い味付をしオーブンで焼き上げ、けしの実をふり、とてもおいしく正月らしく出来上がりしました。
カラフル肉巻も、牛薄切肉に、ごぼう、人参、インゲンに味付け



・鮭の炊き込みご飯
・おせち煮
・紅白野菜と鶏肉の吸い物

今後の行事予定

1月21日(火) 助け合い組織 定例会
23日(木) フレッシュミズ
2月14日(金) 手芸・料理教室 閉校式
15日(土) 食と農を考える集い





2014年 新作振袖

学生服の採寸会も同時開催!!



紳士服・印かん

16時～18時
10時～18時
10時～17時

春の総合展示会

2月7日(金)・8日(土)・9日(日)

大門総合会館 6Fこぶしホール

【お問合せ先】JAいみず野各支店まで

2014

春の

消費税改定目前
ラストチャンス!!

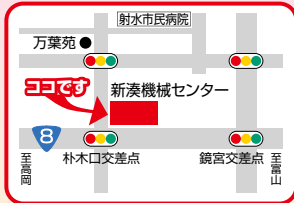
2月

8(土)
9(日)

自動車&農機

大展示会

9:30～17:00



★トラクター

★田植え機

★コンバイン

★小物製品

★ハイブリット車

★エコカー

★お買い得中古車

★各社人気車種

展示会開場

JAいみず野
新湊機械センター
射水市沖塚原 778-1

お問合せ先

車両センター tel. 55-2527
新湊機械センター tel. 82-8530